

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成22年4月30日(2010.4.30)

【公開番号】特開2007-299378(P2007-299378A)

【公開日】平成19年11月15日(2007.11.15)

【年通号数】公開・登録公報2007-044

【出願番号】特願2007-61657(P2007-61657)

【国際特許分類】

G 06 F 3/12 (2006.01)

B 41 J 29/38 (2006.01)

H 04 N 1/00 (2006.01)

【F I】

G 06 F 3/12 C

B 41 J 29/38 Z

H 04 N 1/00 C

【手続補正書】

【提出日】平成22年3月12日(2010.3.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の機能を備え、前記複数の機能の少なくともいずれかを実行することを要求するアプリケーションプログラムを複数備える画像処理装置であって、

前記複数のアプリケーションプログラムの少なくとも1つから実行の要求を受け付けることが可能な前記複数の機能の少なくとも1つに対して選択可能な複数の設定情報の併用の可否に関する情報である併用可否情報を記憶する記憶手段と、

前記アプリケーションプログラムから前記複数の機能の少なくとも1つに対して選択される、当該機能に関する設定情報を受け付ける受付手段と、

前記併用可否情報を参照して前記受付手段が受け付けた設定情報と併用することができない設定情報である競合設定情報を前記アプリケーションプログラムに通知する通知手段と、

を備えることを特徴とする画像処理装置。

【請求項2】

更に、オペレーティングシステムと、

前記オペレーティングシステム上で実行するアプリケーションプラットフォームと、

前記アプリケーションプラットフォームに含まれるプログラムモジュールを実行することによって前記競合設定情報の有無を判定する判定手段と、を備え、

前記アプリケーションプログラムは、前記アプリケーションプラットフォーム上で実行することを特徴とする請求項1に記載の画像処理装置。

【請求項3】

更に、前記複数の設定情報を表示することが可能であり、ユーザからの設定情報の選択を受け付ける操作表示手段を備え、

前記アプリケーションプログラムは前記通知手段から通知された前記競合設定情報に関する情報に基づいて、前記操作表示手段の表示内容を変更することを特徴とする請求項1または請求項2に記載の画像処理装置。

【請求項 4】

前記操作表示手段は、前記通知手段が通知した前記競合設定情報に関する情報に基づいて、前記競合設定情報の選択を受け付けることができないことをユーザに対して識別可能に表示することを特徴とする請求項3に記載の画像処理装置。

【請求項 5】

複数の機能を備え、前記複数の機能の少なくともいずれかを実行することを要求するアプリケーションプログラムを複数備える画像処理装置であって、

前記複数のアプリケーションプログラムの少なくとも1つから実行の要求を受け付けることが可能な前記複数の機能の少なくとも1つに対して選択可能な複数の設定情報の併用の可否に関する情報である併用可否情報を記憶する記憶手段と、

前記アプリケーションプログラムから前記複数の機能の少なくとも1つに対して選択される、当該機能に関する複数の設定情報を受け付ける受付手段と、

前記併用可否情報を参照して、前記受付手段が受け付けた複数の設定情報を併用することができない場合、前記複数の設定情報の一方をリセットするリセット手段と、を備えることを特徴とする画像処理装置。

【請求項 6】

前記リセット手段が前記一方の設定情報をリセットしたことを前記アプリケーションに通知する通知手段を備えることを特徴とする請求項5記載の画像処理装置。

【請求項 7】

更に、前記複数の設定情報を表示する表示手段を備え、

前記アプリケーションは、前記通知手段からの通知に基づいて、前記受付手段が受け付けた設定情報と併用することができない設定情報に関する前記表示手段における表示を更新することを特徴とする請求項6記載の画像処理装置

【請求項 8】

前記リセット手段は、前記受付手段が受け付けた設定情報と併用することができない設定情報を非選択状態にすることを特徴とする、請求項5乃至請求項7のいずれか1項に記載の画像処理装置。

【請求項 9】

複数の機能を備え、前記複数の機能の少なくともいずれかを実行することを要求するアプリケーションプログラムを複数備える画像処理装置であって、

前記複数のアプリケーションプログラムの少なくとも1つから実行の要求を受け付けることが可能な前記複数の機能の少なくとも1つに対して選択可能な複数の設定情報の併用の可否に関する情報である併用可否情報を記憶する記憶手段と、

前記記憶手段に記憶された前記併用可否情報を基づいて、前記複数のアプリケーションプログラムの1つにおいて選択された設定情報と併用可能でない設定情報を識別可能に表示する表示手段と、

を備えることを特徴とする画像処理装置。

【請求項 10】

複数の機能を備え、前記複数の機能の少なくともいずれかを実行することを要求するアプリケーションプログラムを複数備える画像処理装置の制御方法であって、

前記アプリケーションプログラムから前記複数の機能の1つに対して選択される、当該機能に関する設定情報を受け付ける受付工程と、

当該機能に対して選択可能な複数の設定情報の併用の可否に関する情報である併用可否情報を記憶する記憶手段を参照して、前記受付工程で受け付けた設定情報と併用することができない設定情報を前記アプリケーションプログラムに通知する通知工程と、を備えることを特徴とする画像処理装置の制御方法。

【請求項 11】

複数の機能を備え、前記複数の機能の少なくともいずれかを実行することを要求するアプリケーションプログラムを複数備える画像処理装置の制御方法であって、

前記アプリケーションプログラムから前記複数の機能の1つに対して選択される、当該

機能に関する設定情報を受け付ける受付工程と、

当該機能に対して選択可能な複数の設定情報の併用の可否に関する情報である併用可否情報を記憶する記憶手段を参照して、前記受付工程で受け付けた複数の設定情報を併用することができない場合、前記複数の設定情報の一方をリセットするリセット工程と、
を備えることを特徴とする画像処理装置の制御方法。

【請求項 1 2】

複数の機能を備え、前記複数の機能の少なくともいずれかを実行することを要求するアプリケーションプログラムを複数備える画像処理装置の制御方法を画像処理装置に実行させるための制御プログラムであって、

前記制御方法は、

前記アプリケーションプログラムから前記複数の機能の1つに対して選択される、当該機能に関する設定情報を受け付ける受付工程と、

当該機能に対して選択可能な複数の設定情報の併用の可否に関する情報である併用可否情報を記憶する記憶手段を参照して、前記受付工程で受け付けた設定情報と併用することができない設定情報を前記アプリケーションプログラムに通知する通知工程と、
を備えることを特徴とする制御プログラム。

【請求項 1 3】

複数の機能を備え、前記複数の機能の少なくともいずれかを実行することを要求するアプリケーションプログラムを複数備える画像処理装置の制御方法を画像処理装置に実行させるための制御プログラムであって、

前記制御方法は、

前記アプリケーションプログラムから前記複数の機能の1つに対して選択される、当該機能に関する設定情報を受け付ける受付工程と、

当該機能に対して選択可能な複数の設定情報の併用の可否に関する情報である併用可否情報を記憶する記憶手段を参照して、前記受付工程で受け付けた複数の設定情報を併用することができない場合、前記複数の設定情報の一方をリセットするリセット工程と、
を備えることを特徴とする制御プログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】画像処理装置、画像処理装置の制御方法、制御プログラム

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

複数の機能を備え、前記複数の機能の少なくともいずれかを実行することを要求するアプリケーションプログラムを複数備える画像処理装置であって、前記複数のアプリケーションプログラムの少なくとも1つから実行の要求を受け付けることが可能な前記複数の機能の少なくとも1つに対して選択可能な複数の設定情報の併用の可否に関する情報である併用可否情報を記憶する記憶手段と、前記アプリケーションプログラムから前記複数の機能の少なくとも1つに対して選択される、当該機能に関する設定情報を受け付ける受付手段と、前記併用可否情報を参照して前記受付手段が受け付けた設定情報と併用することができない設定情報を前記アプリケーションプログラムに通知する通知手段とを備えることを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0092

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0092】

図6は、本実施形態の画像処理装置におけるアプリケーションプラットフォームのサブモジュールの詳細を示すブロック図である。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0167

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0167】

図13において、まず、UAPはユーザによる操作部150の操作を受け付けたに基づいて、設定と設定値を決める(S1101)。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0169

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0169】

そして、APFサブモジュール6001のサブモジュールである競合判定部6004は、設定競合テーブル6005と、属性保持部6007とを参照する(S1103)。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0179

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0179】

しかし、複数の画像処理装置100を利用するような画像処理機能である場合には、設定を指示している装置が他の画像処理装置100に同様の処理を依頼して、その競合情報を編集して、ユーザインターフェースの表示形態に反映させるように構成してもよい。